



# OASE Operation Autonomy Support Engine

## クイックスタート

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

Exastro Operation Autonomy Support Engine Version 1.3.1  
Exastro developer

# 目次

1. はじめに
  - 1.1 クイックスタートについて
  - 1.2 画面説明（ログイン画面）
  - 1.3 画面説明（Dashboard画面）
  - 1.4 画面説明（アクション設定画面）
  - 1.5 画面説明（トークン払い出し画面）
  - 1.6 画面説明（ディシジョンテーブル画面）
  - 1.7 画面説明（ルール画面）
  - 1.8 画面説明（リクエスト履歴画面）
  - 1.9 画面説明（アクション履歴画面）
2. シナリオ説明
  - 2.1 本書のシナリオ
3. 実行前準備
  - 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
  - 3.2 トークンの払い出し
  - 3.3 ディシジョンテーブルの作成
  - 3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作
  - 3.5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
  - 3.6 テストリクエスト
  - 3.7 プロダクション適用
4. 実行操作
  - 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信
  - 4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認
- A 付録  
サンプル1

# 1. はじめに



# 1.1 クイックスタートについて (1/2)

## ■ 前提

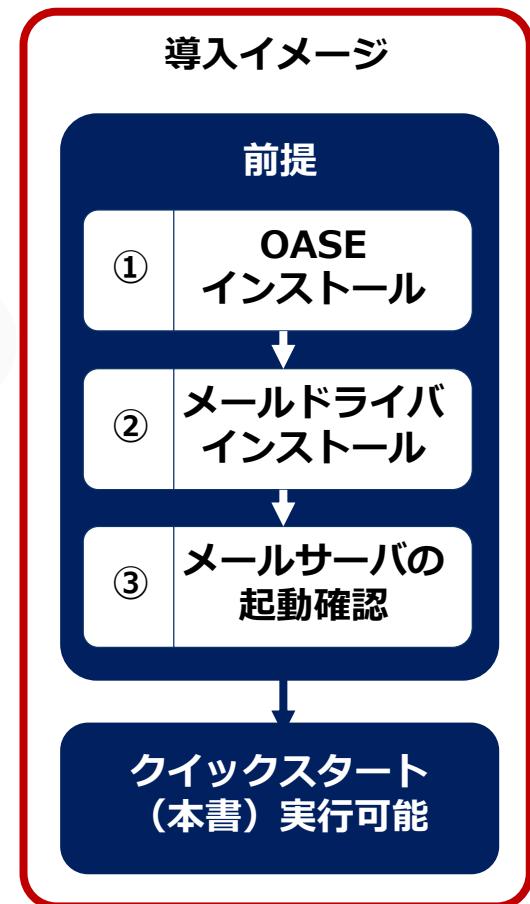
OASEおよび以下の機能が導入済みであること

- ① OASEインストールについては以下を参照
  - ・[<OASE docs 環境構築マニュアル -基本編->](#)
  - ・[<OASE Learn -OASEを導入しよう オンラインインストール編->](#)
- ② メールドライバインストールについては以下を参照
  - ・[<環境構築マニュアル -ドライバインストール編->](#)
- ③ メールサーバが起動していること
  - ・例) Postfix.serviceの起動を確認

```
# ps -ax | grep postfix
```

※起動していない場合は以下を実行

```
# systemctl start postfix
```



# 1.1 クイックスタートについて (2/2)

## 使用する機能について

- 本書ではOASEの以下機能（画面）を用いる（項番は以降のスライドと紐付く）

- Dashboard画面



項目番	画面名称	パンくずリスト
1.2	ログイン	
1.3	Dashboard	DashBoard
1.4	アクション設定	DashBoard > システム > アクション設定 > mail Driver ver1
1.5	トークン払い出し	DashBoard > ルール > トークン払い出し
1.6	ディシジョンテーブル	DashBoard > ルール > ディシジョンテーブル
1.7	ルール	DashBoard > ルール > ルール > ステージング適用ルール
		DashBoard > ルール > ルール > プロダクション適用ルール
1.8	リクエスト履歴	DashBoard > ルール > リクエスト履歴
1.9	アクション履歴	DashBoard > ルール > アクション履歴

# 1.2 画面説明\_ログイン

## OASEログイン

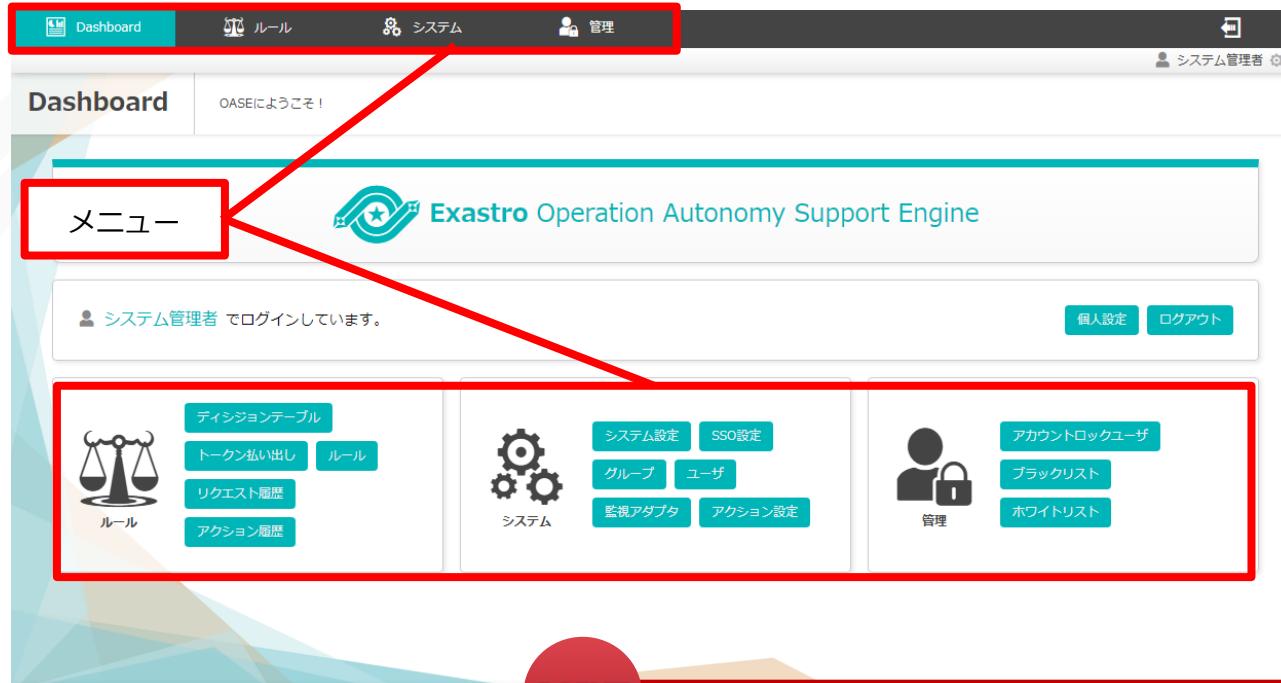
- OASE導入後、以下のURLへアクセスするとログイン画面が表示される  
[https://exastro-oase/oase\\_web/top/login](https://exastro-oase/oase_web/top/login)



# 1.3 画面説明\_DashBoard

## ■ 基本的なメニューの概要

- 「ルール」メニュー : ルール作成やアクション結果を管理
- 「システム」メニュー : OASE全般や各種設定・権限を管理
- 「管理」メニュー : セキュリティ関連を管理



POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

# 1.4 画面説明\_アクション設定

## 機能説明

- ① OASEにインストール済のドライバ名
- ② アクション先として登録されている情報の一覧
- ③ インストール済のドライバにアクション先の情報を追加するボタン
- ④ メールテンプレートを作成するボタン

操作	名前	プロトコル	smtpサーバ	ポート	ユーザ名	最終更新者	最終更新日時
[Edit]	oasetest	smtp	0.0.0.0	25	sample@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:11
[Edit]	oasetest_A	smtp	0.0.0.0	25	sampleA@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:47
[Edit]	oasetest_B	smtp	0.0.0.0	25	sampleB@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46
[Edit]	oasetest_C	smtp	0.0.0.0	25	sampleC@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.5 画面説明\_トークン払い出し

## 機能説明

- ① OASEに登録済みのトークンの一覧
- ② 新規にトークンを作成するボタン

操作	トークン名	利用開始日	利用終了日	最終更新者	最終更新日時
	test_token	2021年 05月 19日 10:14		システム管理者	2021年 05月 19日 10:14

件数 1 表示する件数 50 / 1 + ▲ ▼

新規トークン払い出し

Exastro Operation Autonomy Support Engine

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.6 画面説明\_ディシジョンテーブル

## 機能説明

- ① OASEに登録済のディシジョンテーブルの一覧
- ② ディシジョンテーブルファイルのダウンロードボタン
- ③ 新規追加画面に遷移し、ディシジョンテーブルを作成するボタン

The screenshot shows the 'Decision Table' list page. At the top, there is a navigation bar with tabs: 'Dashboard', 'ルール' (Rules), 'システム' (System), and '管理' (Management). On the right side of the header, there is a user profile and a '新規追加' (New Addition) button. The main area contains a table with the following columns: '操作' (Operations), 'ディシジョンテーブル名' (Decision Table Name), '最終更新者' (Last Updated By), and '最終更新日時' (Last Updated Date). The table lists four entries: 'test' (updated by System Manager on May 21, 2021, 15:48), 'test\_01' (updated by System Manager on May 21, 2021, 14:10), 'test\_o2' (updated by System Manager on May 21, 2021, 14:10), and 'test\_03' (updated by System Manager on May 21, 2021, 14:11). The first column, '操作', contains icons for search and download, which are highlighted with a red box and numbered ②. The last column, '最終更新日時', also has a red box around it and is numbered ①. The '新規追加' button is also highlighted with a red box and is numbered ③.

操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
[Search/Download]	test	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48
[Search/Download]	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
[Search/Download]	test_o2	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
[Search/Download]	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.7 画面説明\_ルール (1/2)

## 機能説明

- ① ディシジョンテーブルファイルを操作するボタン
- ② アップロードしたディシジョンテーブルファイルとそのステータスの一覧
- ③ ステージングからプロダクションへの適用ボタン



① テストリクエスト  
② ファイルを選択:  
③ アップロード

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test_03	mail_test_03.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:14
	test_02	mail_test_02.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test_01	mail_test_01.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test	mail_test.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:47

POINT  
各機能の詳細はマニュアルを参照してください

①でディシジョンテーブルファイルをステージング環境にアップロードしテストリクエストを実施の結果、運用可能なルールであると検証が完了した場合（②のステータス次第）、③の適用ボタンが有効になる。

# 1.7 画面説明\_ルール (2/2)

## 機能説明

- ① OASEにメッセージが飛んできたとき実際に運用されることが決定したルールの一覧

The screenshot shows the OASE interface with the 'ルール' tab selected. It displays two tables of rules:

**ステージング適用ルール**

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test_03	mail_test_03.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:14
	test_o2	mail_test_02.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test_01	mail_test_01.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test	mail_test.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:47

**プロダクション適用ルール**

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	適用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test	mail_test.xlsx	プロダクション適用	プロダクション適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.8 画面説明\_リクエスト履歴

## 機能説明

### ① ヒットしたルールとそのステータス一覧

The screenshot shows the 'Request History' page of the Exastro Operation Autonomy Support Engine. The top navigation bar includes 'Dashboard', 'ルール' (Rules), 'システム' (System), and '管理' (Management). A user icon labeled 'システム管理者' is also present. The main content area is titled 'リクエスト履歴' (Request History) and displays a table of matched rules. The table has columns: 'ルールマッチ状況' (Rule Match Status), 'リクエスト種別' (Request Type), 'ディシジョンテーブル名' (Decision Table Name), 'リクエスト受信日時' (Request Received Date and Time), 'イベント情報' (Event Information), 'イベント発生日時' (Event Occurred Date and Time), and 'イベントシリアルNo.' (Event Serial Number). A red box highlights the first row of the table, which corresponds to the point numbered ① in the title. The table contains 9 rows of data.

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
✓	ステージング環境	test_03	2021年5月24日19:14	{"EVENT_INFO": ["300"]}	2021年5月24日19:14	TOS_20210524101433062191_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月24日11:50	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210524025052939350_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:59	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521095902622695_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:45	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521094554755966_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:39	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521093935582732_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_00000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_00000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_00000

件数 9 表示する件数 50 / 1 / 1 ▲ ▼ ■

Exastro Operation Autonomy Support Engine

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.9 画面説明\_アクション履歴

## 機能説明

### ① ヒットしたルールとそのステータス一覧

The screenshot shows the 'Action History' list in the system. The table has columns: 状態 (Status), 操作 (Operation), ディジョンテーブル名 (Decision Table Name), ルール名 (Rule Name), アクション種別 (Action Type), 最終実行日時 (Last Execution Date), and 最終実行者 (Last Executor). Six rows are listed, all with a green checkmark in the status column and 'ruleA' in the rule name column. The last row is highlighted with a red border.

状態	操作	ディジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓	[Icon]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icon]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icon]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icon]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:39	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icon]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 17:32	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icon]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 16:12	アクションドライバープロシージャ

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

## 2. シナリオ説明



## 2.1 本書のシナリオ

### OASEインストール後からアクション履歴が詰まるまでのシナリオ

#### 【実行前準備】

各種設定  
および  
ルールの登録

- 1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- 2 トークンの払い出し
- 3 ディシジョンテーブルの作成
- 4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作
- 5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- 6 テストリクエスト
- 7 プロダクション適用

#### 【実行操作】

メッセージ投入し  
ルールマッチング  
および  
アクションの実行

- 8 curlコマンドによるリクエスト送信
- 9 アクション実行結果の確認

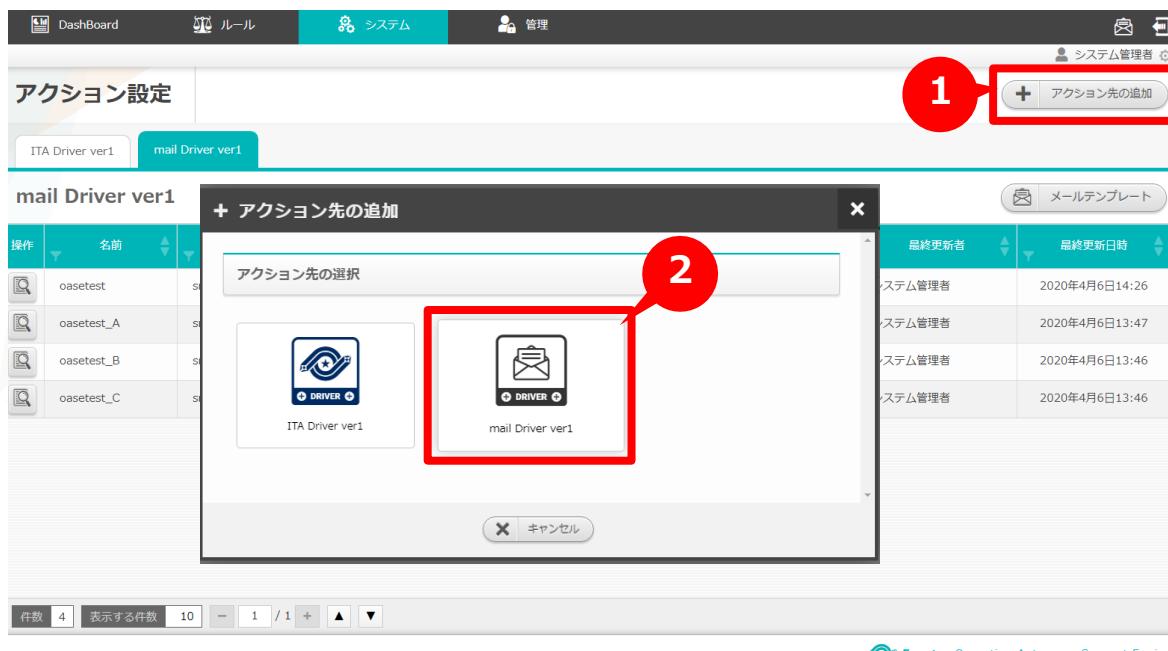
### 3. 実行前準備



# 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)

## アクション先の追加

- ① 「アクション設定」画面上の「アクション先の追加」ボタンを押下
- ② 「アクション先の選択」欄で「mail Driver ver1」を選択



※ドライバをインストールしていない場合、上記の画面は表示されません。

POINT

事前に[環境構築マニュアル -ドライバインストール編->](#)を参照のうえ  
メールドライバをインストールしてください。

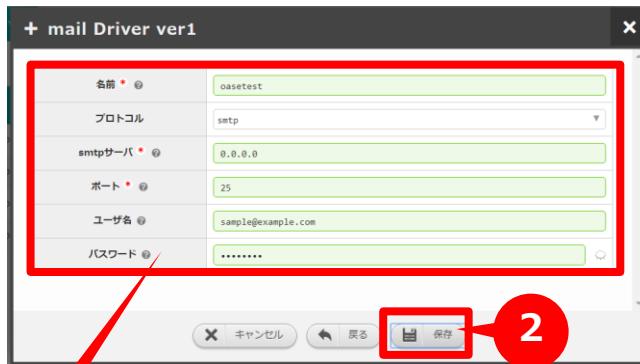
メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

- トーケンの払い出し
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作
- ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによる  
リクエスト送信
- アクション実行結果の確認

### 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)

#### アクション先の設定

- ① 「mail Driver ver1」画面の必要情報を入力
- ② 「保存」ボタンを押下



##### POINT

「名前」は後述する  
[<ディシジョンテーブルファイル作成>](#)時に「どのアクション先に対してアクション実行するのか」指定するために必要です。

##### 1 以下の値を入力する

項目	設定値
名前	任意のアクション先名を入力
プロトコル	「smtp」または「smtp_auth」を選択
Smtp サーバ	プライベートIPもしくはグローバルIPを入力 ※前提としてSMTPサーバが用意されていること
ポート	通信に用いるポート番号を入力
ユーザ名	空白可、メールの送信元となるユーザ名を入力
パスワード	空白可、認証に必要なパスワードを入力

##### POINT

「ユーザ名」はメールの送信元として表示されます。

#### メールドライバの設定とメールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルのアップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

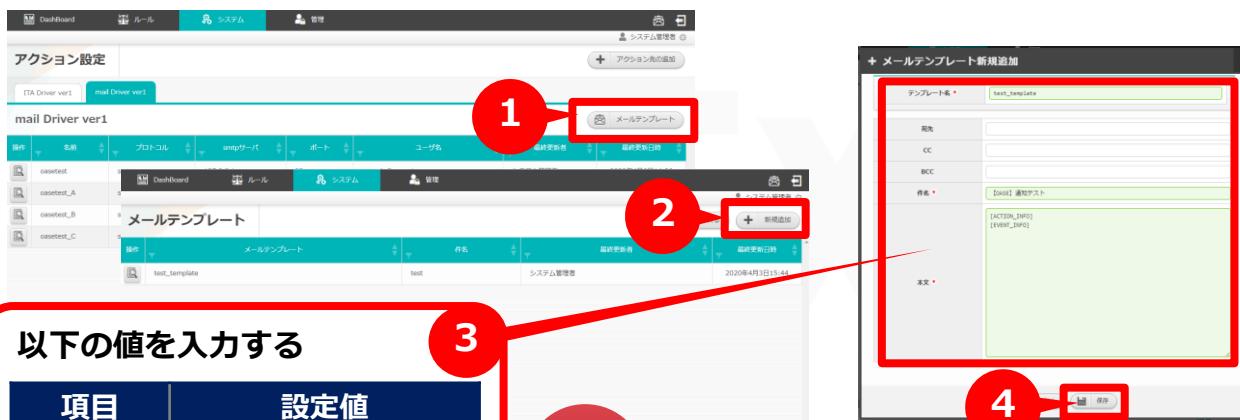
##### POINT

\* のつく項目は入力必須です。

# 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)

## メールテンプレートの作成

- ① 「メールテンプレート」ボタンを押下
- ② 「新規追加」ボタンを押下
- ③ 「メールテンプレート新規追加」画面で必要情報を入力
- ④ 「保存」ボタンを押下

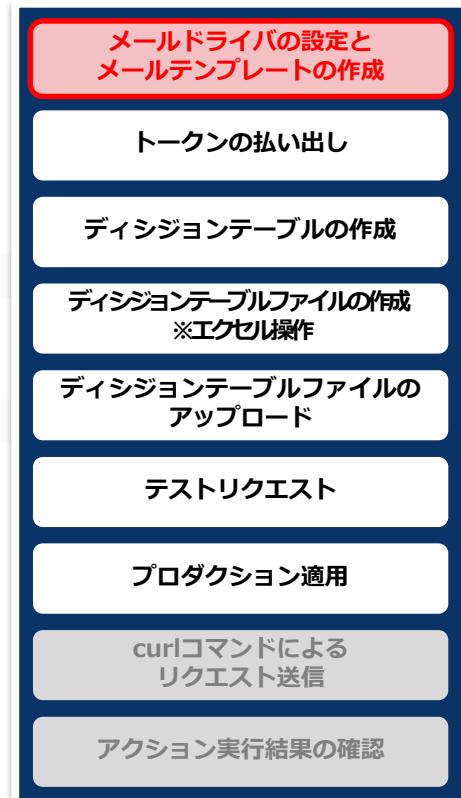


以下の値を入力する

項目	設定値
テンプレート名	任意の名称を入力
宛先	任意、空白可
CC	任意、空白可
BCC	任意、空白可
件名	任意の文字列を入力
本文	任意の文字列を入力

POINT

「テンプレート名」は、後述する  
[<ディシジョンテーブルファイルの作成>](#)時に、どのメールテンプレートを使用するか  
指定するために必要です。  
「本文」に[ACTION\_INFO]および  
[EVENT\_INFO]タグを使用することで、  
「リクエスト情報」および「イベント情  
報」が記載されたメールを受信するこ  
とが可能です。



POINT \* のつく項目は  
入力必須です。

## 3.2 トークンの払い出し

### 新規トークンの払い出しを実施

- ① 「新規トークン払い出し」ボタンを押下
- ② 「新規トークン払い出し」画面で必要情報を入力
- ③ 「トークン払い出し」ボタンを押下
- ④ 「トークン」画面に表示されるトークンをコピーして保持する
- ⑤ 「閉じる」ボタンを押下

The screenshot shows the 'Token Issuance' screen. A red circle labeled '1' points to the 'New Token Issuance' button at the top right of the main panel. A red box labeled '2' highlights the 'Token Information' input field where 'test\_token' is entered. A red box labeled '3' highlights the 'Issue Token' button at the bottom right of the modal window. The modal window title is 'New Token Issuance'.

2 以下の値を入力する

項目	設定値
トークン名	任意の名称を入力
グループ別権限	システム管理者 : 権限あり

3

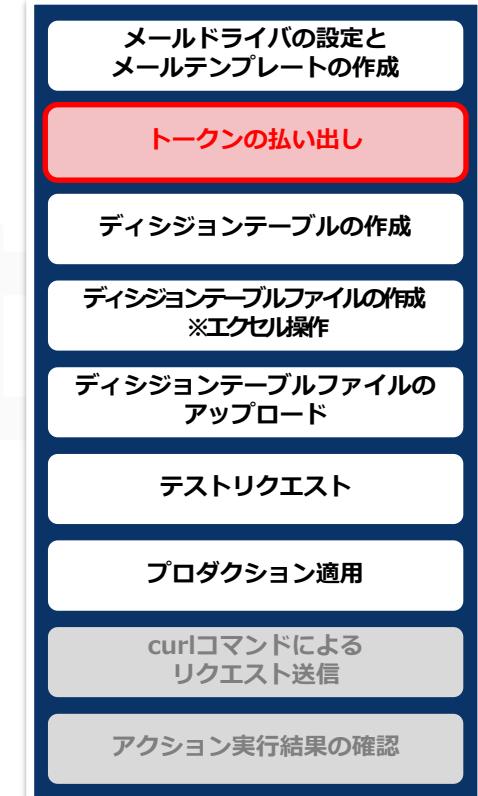
3

5



POINT

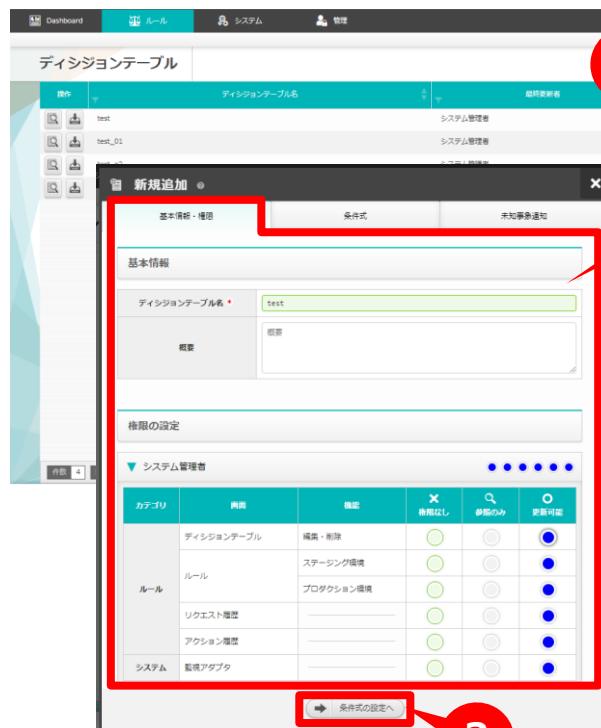
トークンは後述する[curlコマンドによるリクエスト送信](#)時に使用するため設定が必要です。



### 3.3 ディシジョンテーブルの作成 (1/2)

#### ディシジョンテーブルの作成

- ① 「ディシジョンテーブル」画面の「新規追加」ボタンを押下
- ② 「新規追加」画面の「基本情報・権限」タブに必要情報を入力
- ③ 「条件式の設定へ」ボタンを押下



1

2

3

以下の値を入力する

#### 「基本情報・権限」タブ

項目	設定値
ディシジョン テーブル名	任意の文字列
権限の設定	システム管理者： 全て「更新可能」

#### POINT

「権限の設定」では最低でも1グループは必ず「更新可能」を設定してください。ディシジョンテーブルの更新ができなくなります。

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

#### POINT

\* のつく項目は  
入力必須です。

### 3.3 ディシジョンテーブルの作成 (2/2)

#### ディシジョンテーブルの作成

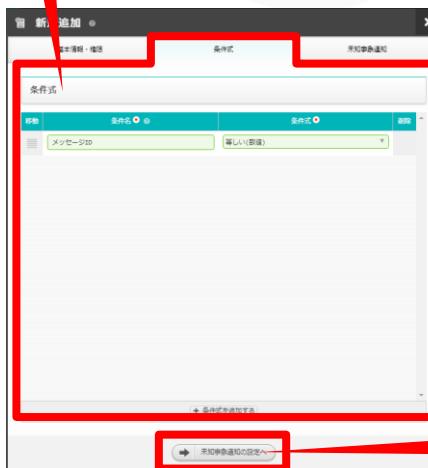
- ④ 「新規追加」画面の「条件式」タブに必要情報を入力
- ⑤ 「未知事象通知の設定へ」ボタンを押下
- ⑥ 「新規追加」画面の「未知事象通知」タブに必要情報を入力
- ⑦ 「保存」ボタンを押下

項目	設定値
条件名	任意の文字列
条件式	プルダウン選択

上記の値を入力する

項目	設定値
未知事象通知	「通知しない」を選択

上記の値を入力する



POINT

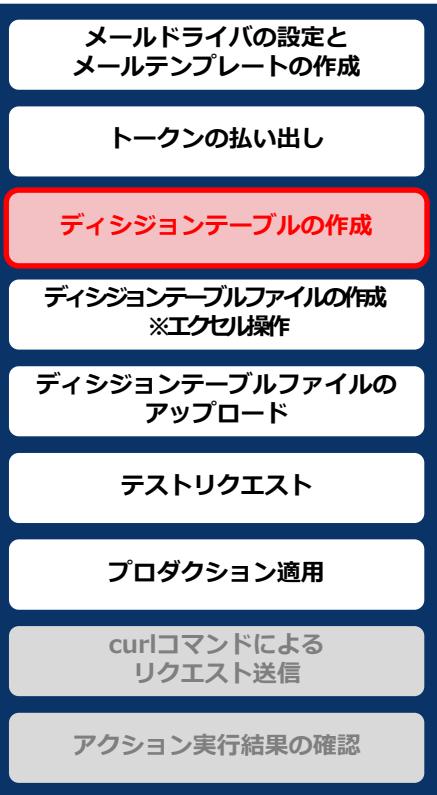
設定した  
条件式には、後  
述するディシ  
ジョンテーブル  
ファイルの「条  
件部」で具体  
値を設定します。

5



POINT

\* のつく項目は  
入力必須です。



## 3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(1/2)

### ディシジョンテーブルファイルのダウンロードおよび作成

- 「3.2 ディシジョンテーブルの作成」で作成したディシジョンテーブルの「ダウンロードボタン」を押し下しディシジョンテーブルファイルをダウンロードする。

操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
	test	システム管理者	2021年 05月 21日 14:05
	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_02	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11

#### POINT

ディシジョンテーブルファイルの名前は自動生成されます  
(例「id000000000000.xlsx」)。先述の「ディシジョンテーブル名」とは  
異なります。各項目の記述内容については次のページで説明します。

- メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作**
- ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによるリクエスト送信
- アクション実行結果の確認

### 3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(2/2)

#### ディシジョンテーブルファイルに以下の内容を記述作成

※具体的なディシジョンテーブルファイルの記述例は後述の[<A 付録 サンプル1>](#)を参照

	①	②	③	④	
	ルール説明 メッセージID (必須)	メッセージID (必須)	ルール名 (必須)	アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報 (必須) ※ダブルクオーテーションは使用不可
11	メッセージA	10001	ruleA	mail(ver1)	MAIL_NAME=coester.MAIL_TO=sample@example.com MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x
12	メッセージB	0	ruleB	mail(ver1)	MAIL_NAME=coester.MAIL_TO=sample@example.com MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x
13	メッセージC	555	ruleC	mail(ver1)	MAIL_NAME=coester.MAIL_TO=sample@example.com MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x
14					
15					
16					メールを複数行で複数回、1行毎に改行を記入して下さい。 記述できるルール件数の上限は 5000 件です
17					

①コメント部	空白可。説明文など、自由なテキスト記述に使用可能。
②条件部	ルールがマッチングする条件を作成する。
③アクション部	<ul style="list-style-type: none"><li>ルール名ごとにどのようなアクションを実行するか設定可能。</li><li>アクションを実行してもよいか、事前承認メールを送る設定も可能。</li><li>「アクション種別」に指定可能なのは「アクション設定」画面で登録したドライバのみ。 (クリックスタートでは「mail Driver ver1」を指定)</li><li>アクション種別ごとに「アクションパラメータ情報」の書き方が異なるため要注意。</li></ul>
④アクション条件部	空白可。ルールを適用する期間の始まりから終わりまでを設定することが可能。

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

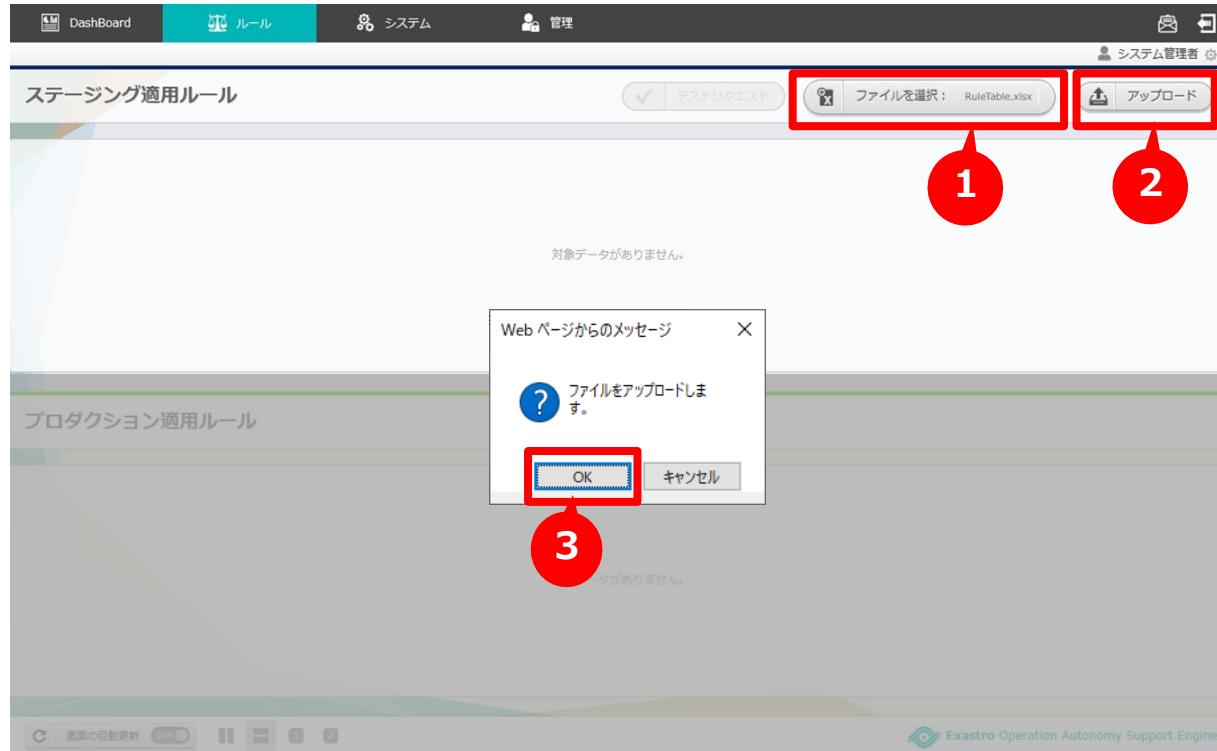
POINT

値の記述方法はディシジョンテーブルファイルの「記述例」シートを参照ください。  
ディシジョンテーブルファイルの更新後、任意の名称にファイル名を変更することができます。

# 3.5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード

## 【テストリクエストしたいディシジョンテーブルファイルを選ぶ】

- ① 「ルール」画面の「ファイルを選択」ボタンを押し作成したディシジョンテーブルファイルを選択
- ② 「アップロード」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

**ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード**

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

# 3.6 テストリクエスト(1/3)

## ■ テストリクエスト対象の選択

- ① 「作業ステータス」欄が「ステージング適用完了」に遷移後「テストリクエスト」ボタンを押下
- ② 「ディシジョンテーブル」タブの「ディシジョンテーブル名選択」欄にて、テストしたいディシジョンテーブル名を選択
- ③ 「テストリクエスト設定へ」ボタンを押下

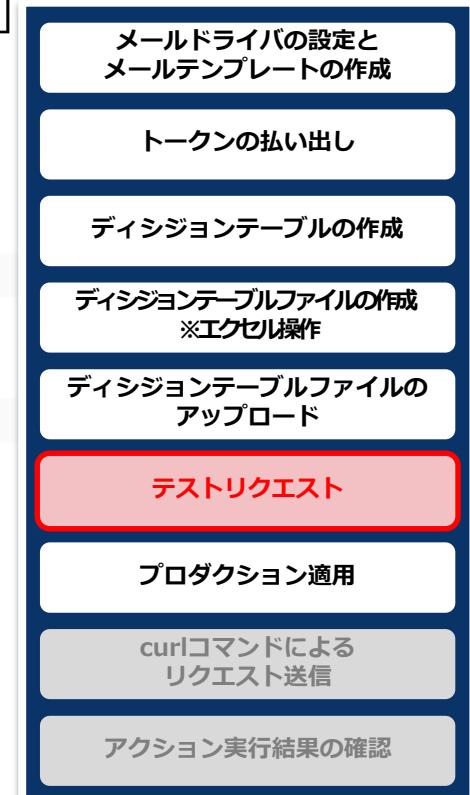
The screenshot shows the Exastro rule management interface. At the top, there's a navigation bar with tabs for Dashboard, ルール (Rules), システム (System), and 管理 (Management). The ルール tab is active. Below the navigation is a search bar with placeholder text 'ファイルを選択：' and a file upload button. To the right of the search bar are buttons for 'アップロード' (Upload) and '過去を含め表示' (Show previous versions). A toggle switch is also present.

The main area displays a table titled 'ステージング適用ルール'. The columns are: 操作 (Operation), ディシジョンテーブル名 (Decision Table Name), ルールファイル (Rule File), 運用ステータス (Operational Status), 最終更新者 (Last Updated By), and 最終更新日時 (Last Updated Date). One row in the table is highlighted with a red box and labeled '1'. This row shows the status 'ステージング適用完了' (Stage Apply Completed).

A modal window titled 'テストリクエスト' (Test Request) is open in the foreground. It contains a table with the following data:

ディシジョンテーブル名	test
ディシジョンテーブル名	test
ファイル名	mail_test.xlsx
運用ステータス	検証完了
作業ステータス	ステージング適用完了
最終更新者	システム管理者
最終更新日時	2021年05月19日16:04

Three numbered circles point to specific elements: circle '2' points to the 'test' entry in the 'ディシジョンテーブル名' column; circle '3' points to the 'テストリクエスト設定へ' (Test Request Settings) button at the bottom left of the modal.



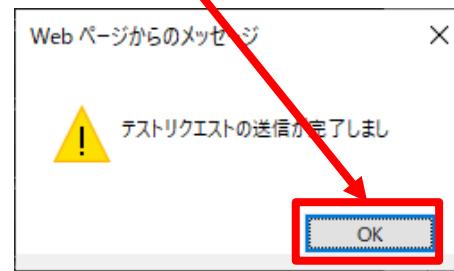
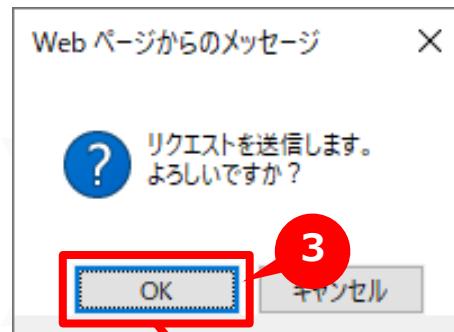
POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については  
[<利用手順マニュアル -ルール画面編- \(1\)ルール画面\(ステージング\)>](#)を参照ください。

# 3.6 テストリクエスト(2/3)

## ■ テストで値を入れて実行する

- ① 「設定」タブ内にて「単発テスト」タブの入力欄に、作成したルールに合致する値を入力
- ② 「実行」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



- メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作
- ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード
- テストリクエスト**
- プロダクション適用
- curlコマンドによる  
リクエスト送信
- アクション実行結果の確認

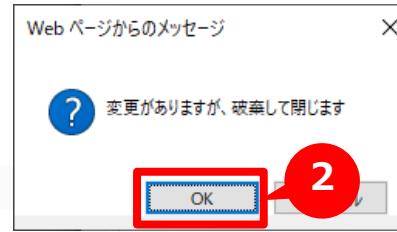
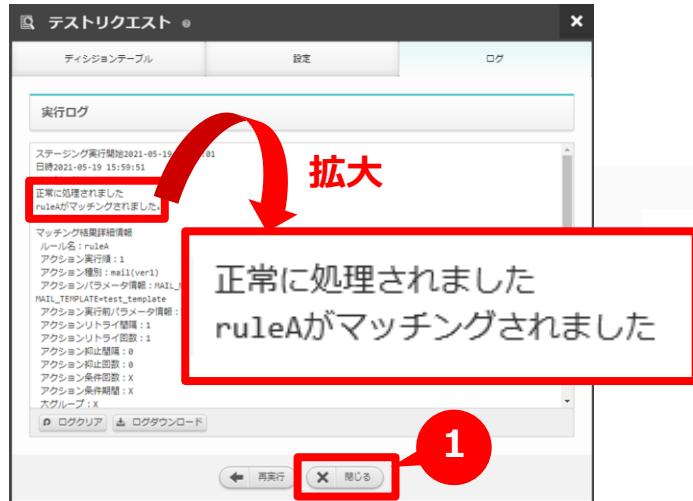
POINT

作成したディシジョンテーブルファイルの「条件部」に合致する値か否かテストします。

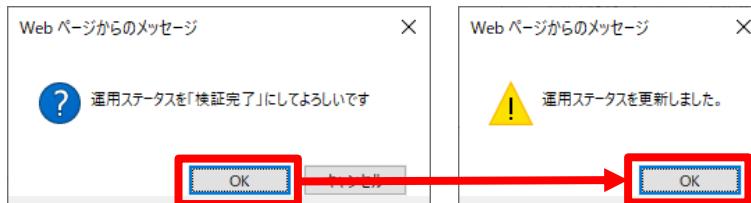
# 3.6 テストリクエスト(3/3)

## ルールが有効か確認する

- 「ログ」タブの「実行ログ」欄にてログを確認
  - 「閉じる」ボタンを押下
  - ダイアログの「OK」ボタンを押下



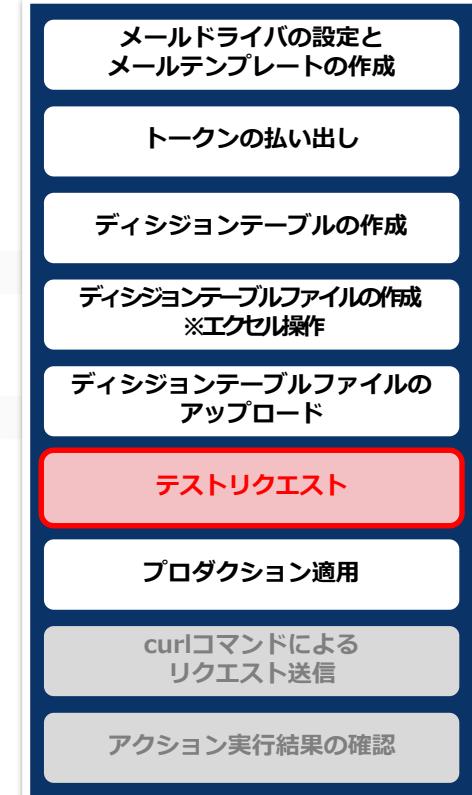
- 正常に処理されルールがマッチングした場合
  - ダイアログの「OK」ボタンを押下



POINT

前述の<ディシジョンテーブルファイルの作成>で作成したルールに合致する場合、「実行ログ」欄に「正常に処理されました」「マッチングされました」と表示されます。

ルールがマッチングすると「運用ステータス」が次のステータスに移ります。

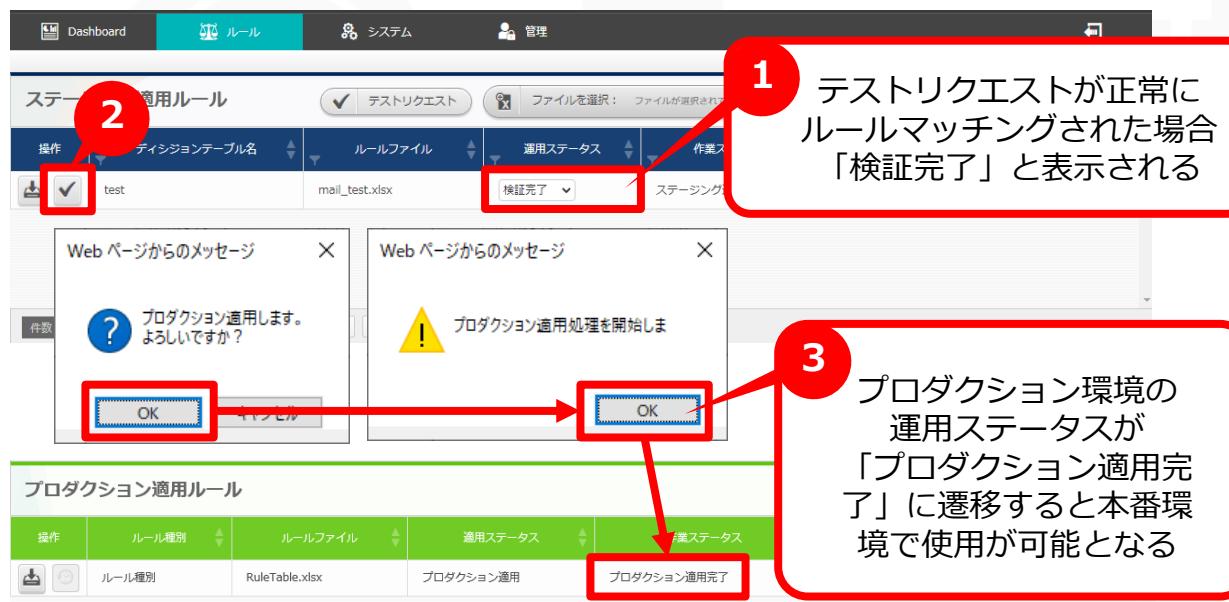


### 3.7 プロダクション適用

#### 検証完了したルールを本番環境で使用できるようにする

- ルールを本番環境で使用できるようにするために「ステージング適用ルール」から「プロダクション適用ルール」に適用させる。

- 「ステージング適用ルール」の「運用ステータス」欄が「検証完了」に遷移していることを確認
- 「操作」欄の「適用ボタン」を押下
- ダイアログの「OK」ボタンを押下



POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については  
[<利用手順マニュアル -ルール画面編- \(2\)ルール画面\(プロダクション\)>](#)を参照ください。

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

## 4. 実行操作



## 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)

### メッセージを投入しプロダクション適用ルールとマッチングさせる

- ターミナルを開き、以下のコマンドをルールに合わせ書き換えたうえで実行する。

※具体的なcurlコマンドの使用例は後述の[付録 サンプル1](#)を参照

```
curl -X POST -k "https://<①ホスト名>
>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json"
-d "{\"$decisiontable\": \"$<②ディシジョンテーブル名>
>\", \"$requesttype\": \"$<③リクエスト種別>\", \"$eventdatetime\": \"$<④イ
ベント発生日時>\", \"$eventinfo\": [\"<⑤イベント情報>\"]}" -H
"Authorization: Bearer <⑥トークン>"
```

① ホスト名	有効なホスト名、IPアドレスを入力
② ディシジョンテーブル名	プロダクション適用済みのディシジョンテーブル名を入力
③ リクエスト種別	投入先「1:プロダクション」の「1」を入力 例) , \"\$requesttype\": \"\$1\",
④ イベント発生日時	「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式で日付を入力 例) , \"\$eventdatetime\": \"\$2020/01/01 01:01:01\",
⑤ イベント情報	リスト形式で指定　　例) [\"\$2\", \"\$あああ\"]]
⑥ トークン	「トークン払い出し」画面で払い出したトークンを入力

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テスクリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

HTTPSリクエストの詳細については[RestAPI機能 利用マニュアル](#)を参照してください。

## 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)

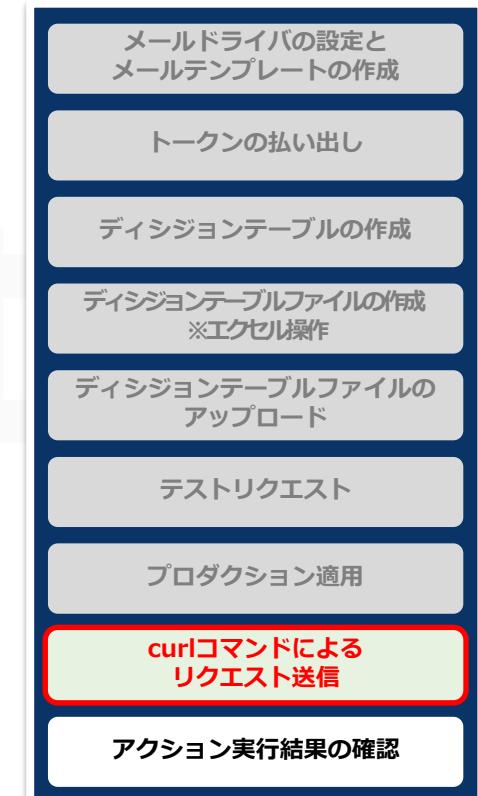
### 「リクエスト履歴」画面を確認

- curlコマンドでパラメータを指定しリクエスト送信した履歴が追加される。  
※ 「リクエスト履歴」画面で表示する項目数は変更可能

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
⚙️	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_000000

ルールマッチ状況  
 リクエスト種別  
 ディシジョンテーブル名  
 リクエスト受信日時  
 イベント情報  
 イベント発生日時  
 イベントシリアルNo.

件数 4 表示する件数 50 / 1 + ▲ ▼ ■



## 4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

### アクション実行

- ルールマッチした場合、実行前準備で設定したとおりアクションが実行（メール通知）され、「アクション履歴」画面で結果が確認できる。
- 前述した<ディシジョンテーブルファイルの作成>のアクション部にて設定した内容でアクションが実行される（mail Driver で指定したとおりメールが通知される）。

### メール通知

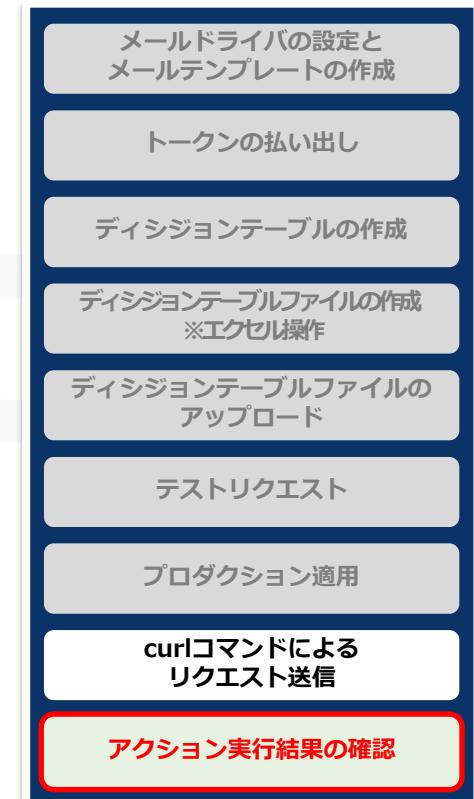
- 前述した<メールドライバの設定とメールテンプレートの作成>で設定した件名・本文のメールが届く。

### アクション履歴

- ルールマッチングし実行されたルールが「アクション履歴」画面に表示されていることを確認する。

The screenshot shows the Exastro UI with the 'Action History' tab selected. The table displays three entries from the 'test' decision table, each corresponding to a successful execution of ruleA with the action mail(ver1) on May 24, 2021, at 11:51, performed by the Action Driver/Proーシャ.

状態	操作	ディシジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバ/Proーシャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバ/Proーシャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバ/Proーシャ



# A 付録



# サンプル1(1/4)

## サンプル値を入力しOASEを実行する

- 「メッセージID：10001」という情報をOASEが受け取った時、「件名：【OASE】通知テスト」「本文：[リクエスト情報][イベント情報]」という内容のメールが送信されるアクションを実行させたい

### 【実行前準備】

#### ① 「アクション設定」画面

- 「mail Driver ver1」を用意する

名前	oasetest
smtpサーバ	0.0.0.0
ユーザ名	sample@example.com
パスワード	(空白)

(他、必要情報を登録)

- 「メールテンプレート」を作成する

テンプレート名	test_template
件名	【OASE】通知テスト
本文	[ACTION_INFO] [EVENT_INFO]

#### ② 「トークン払い出し」画面

- curlコマンドによるリクエスト送信時に必要なトークンを用意する

トークン名 test\_token

(他、必要情報を登録)

POINT

本書内

[<3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成>](#)および  
[<3.2 トークンの払い出し>](#)

の範囲です。

# サンプル1(2/4)

## ② 「ディシジョンテーブル」画面

- 「メッセージID」が合致条件となるルールを作成する

ディシジョンテーブル名	test
権限の設定（システム管理者）	全て「更新可能」
条件名	メッセージID
条件式	等しい(数値)

POINT

本書内

[<3.3 ディシジョンテーブルの作成>](#)および[<3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作>](#)の範囲です。

## ③ 「ディシジョンテーブル」ファイル

- ディシジョンテーブルファイルをリネームして保存する

ファイル名 mail\_test.xlsx

- 「メッセージID : 10001」がヒットするルールを作成する  
※赤字箇所はご変更ください。

メッセージID（等しい(数値)）	10001
アクション種別	mail(ver1)
アクションパラメータ情報	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=<受信可能なメールアドレス>,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test_template

(他、ディシジョンテーブルファイルの「シート：記述例」を参考に必要情報を登録)

# サンプル1(3/4)

## ④ 「ルール（ステージング適用ルール）」画面

- 作成したディシジョンテーブルファイルをアップロードする

ファイルを選択

mail\_test.xlsx

## ⑤ 「テストリクエスト」画面

- アップロードしたディシジョンテーブルファイルにリクエスト「メッセージID：10001」が来た場合ルールがマッチングするかテストする

ディシジョンテーブル名選択

test

メッセージID

10001

### POINT

本書内 [<3.5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード>](#)  
および[<3.6 テストリクエスト>](#) の範囲です。

# サンプル1(4/4)

## 【実行操作】

### ⑥ターミナル操作 (Linuxサーバ)

用意したルールに対しcurlコマンドでリクエストを投げる  
※赤字箇所はご変更ください。

```
curl -X POST -k "https://<HostName>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json" -d "{$decisionable": "test", "requesttype": "1", "eventdatetime": "2020/01/01 01:01:01", "eventinfo": ["10001"]}" -H "Authorization: Bearer <Access_Token>"
```

### ⑦メール通知

右記情報の  
メールが  
届いたことを  
確認する

件名	【OASE通知テスト】
本文	[リクエスト情報] トレースID ディシジョンテーブル名 リクエストユーザ リクエストサーバ  [イベント情報] イベント発生日時 条件名 メッセージID

A screenshot of an email notification titled "【OASE通知テスト】". The email header shows the recipient as "sample@example.com" and the subject as "[OASE]通知テスト". The body of the email contains the following text:

本メールは、『Operation Autonomy Support Engine』より  
自動送信しています。

=====

**メール通知  
イメージ**

[リクエスト情報]  
イベントシリアル No. :  
ディシジョンテーブル名 :  
リクエストユーザ :  
リクエストサーバ :  
  
[イベント情報]  
イベント発生日時 :  
条件名 =  
メッセージ ID =

POINT

本書内 [<4.1 curlコマンドによるリクエスト送信>](#)および  
[<4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認>](#)の範囲です。



**Exastro**